



NO.52

JASPA

Japan Software Party Association



コスモソフト協同組合
埼玉ソフトウェア事業協同組合
静岡県ソフトウェア事業協同組合
首都圏ソフトウェア協同組合
ソフトウェア事業協同組合
ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合

北海道ソフトウェア事業協同組合
沖縄県ソフトウェア事業協同組合
電算ソフトウェア協同組合
宮城県ソフトウェア事業協同組合
中央イメージテクノロジー研究開発協同組合
関西コンピュータ技術協同組合

広島県西部情報サービス協同組合
福岡コンピュータ技術者協同組合
西日本コンピュータ技術者協同組合

全国ソフトウェア協同組合連合会

事務局：首都圏ソフトウェア協同組合

東京都港区高輪2-15-8 グレイスビル泉岳寺前2F TEL 03-3473-9877 FAX 03-5798-7589 ホームページ <http://www.jaspanet.or.jp>

岐路に立つソフトウェア産業

電算ソフトウェア協同組合

理事長 **佐々木 賢生**



ソフトウェア産業が大きな転換期を迎えている。「100年に一度」といわれる経済危機の波をもろにかぶり、業界に深刻な影響を与えている。特に下請け構造にドップリ浸かっている中小のソフトウェア会社は、まさに、正念場の時期に差し掛かっている。そこで、これからの対策と展望を考えてみたい。

サブプライムローン問題に端を発した欧米発の金融危機は、新興国を含む各国の株式市場や実体経済にも波及、大きなショックを与え続けている。特に、2008年9月15日のリーマン・ブラザーズの破綻がさらに影響を拡大させた。アメリカ経済に対する不安が広がり、世界的な金融危機へと連鎖させた。当時日経平均も7,000円台まで下落、輸出産業を筆頭に中小下請け企業まで巨額な損失に見舞われた。その「負の連鎖」は、我が国IT産業にも直撃した。

日立製作所が決算でなんと8,000億円の赤字を計上、NECも3,000億円の赤字。他の電算機メーカーも軒並み赤字決算となり、大胆なリストラや事業の再編策に迫られた。NECグループでは、2万人のリストラ策を発表するなど、各社大胆な事業の見直しを実施した。日

本IBMでも昨年暮れに1,000人のリストラを発表した。そうした影響は、大手SI会社にも波及し、中小ソフトウェア会社は、その波をもろに被る結果となった。

「とにかく困りました。発注がなくなり、大手から内製で取り敢えずしのぎますので、来月から派遣をストップして戴きたい」と言った声が急速に増え、ある会社では、一挙に120名の従業員を帰されたと嘆く企業があった。これは氷山の一角で、ほとんどのソフトウェア会社が同じ経験をしている。待機している従業員にどうやって給料を支払おうか。雇用助成金ではとても間に合わないという企業が続出しているのだ。

一方、そうした問題とは別に以前から業界で影を落としていることも発生していた。いわゆる労働派遣法や下請け法の改正である。つまりこの業界で日常茶飯事に行われていた2次、3次そして4次といった下請が出来なくなったことである。また、個人事業者もそれに準じて、派遣が厳しく制約されたことだ。そのため、全国ソフトウェア事業協同組合は、諸官庁である経済産業省情報処理振興課をはじめ関連機関に



実態の説明や課長を交えたヒヤリング、陳情を始めている。また、個人事業者の対策セミナーやパンフレットを作成するなど、活動を始めている。

内閣府が21年9月8日に発表した「最近の経済動向」によると、景気は、失業率が過去最高水準となるなど厳しい状況にあるものの、このところ持ち直しの動きがみられる、としている。しかし、ソフトウェア投資は、相変わらず「弱含み」とし法人企業統計季報でも「当分、回復の兆しは見えない」ことをうたっている。

現在、ソフトウェア会社は、大小合わせて全国に3万社あるといわれている。そのうち90%が中小零細企業である。300人の従業員を抱えている企業は大きい部類に入るとされている。つまり、それ以下の企業が現在、大打撃を受けているのが現状ではないだろうか。

そうした企業は、リストラや給与のカットなどで、しのいでいるが、先ほどの統計ではないが、持ちこたえる企業がどの位あるか前途不安であることに間違いない。では、対策は、と言っても妙案はないのが実情だ。以前、M&Aが流行ったが、これも今の景気では難しい。合併して従

業員が増えたところで仕事がないので、バブル時代とはいかないわけである。

どうしたらよいかだが、グループ化して共同受注や得意分野への傾注。再教育の実施など、考えられるが妙案とは言えない。やはり今はじっと我慢するしかないのか。ここは、声を大きくして業界がまとまることが先決ではないか。そして、政府等にも実態を再認識してもらい、法改正つまりソフトウェア産業支援法（案）と言った特措法を制定してもらうことが一つの案ではないか。政府ではかねてより「IT立国」の実現を提唱しているが、ほとんどが大手メーカーに仕事が回りわれわれ末端には話すらないわけだ。国として中小にいかに支援できるかをぜひ考えていただきたい。

経済がグローバル化する中、日本の特技にまで成長したソフトウェア開発技術は、先進国での1、2位のレベルとなっている。今後の少子化問題や環境問題にもますますIT技術が必要なはずである。我々も下請け体質からの脱却を目指し、将来、「夢」のある産業になるよう業界全体で努力する必要があると思うのである。

平成21年 賀詞交歓会 開催!!

去る1月15日(木)、本年もJASPA賀詞交歓会が盛大に開催されました。
今年、JASPA賀詞交歓会をホスト団体として取り仕切ったのは、電算ソフトウェア
協同組合、ハイテクノロジーソフトウェア開発協同組合、首都圏ソフトウェア協同組
合の3組合。本年は初の試みで3組合による合同企画での開催となりました。
会場は東京都の品川駅近くのグランドプリンス高輪を会場に開催しました。
賀詞交歓会前に行いました講演会では経済産業省商務情報政策局情報処理振興課 八尋
俊英課長補佐にご講演頂きました。
賀詞交歓会には衆議院議員 高市早苗先生に御臨席賜りご挨拶を賜りました。
更には多数ご出席賜りました業界団体代表の方々を代表して社団法人情報サービス産
業協会(JISA) 副会長 太田清史様にご挨拶頂きました。
その時の模様を写真を交え下記にご報告致します。

《特別講演》

テーマ「今後のソフトウェア産業政策の動向について」

・講師 経済産業省商務情報政策局
情報処理振興課 課長補佐 豊田 原 氏



豊田 原 氏

《賀詞交歓会》

ご祝辞を頂いた方々
衆議院議員 高市 早 苗 様



高市 早苗 様

社団法人情報サービス産業協会 副会長
キャノンマーケティングジャパン株式会社 常勤顧問
太 田 清 史 様



太田 清史 様

・乾杯のご発声のご挨拶を頂いた方
社団法人コンピュータソフトウェア協会 会長
株式会社オービックビジネスコンサルティング
代表取締役社長 和 田 成 史 様



和田 成史 様

事務局長会議開催!!

去る1月14日(木)、5月21日(木)総会開催前に時間を設け、第5回、
第6回JASPA事務局長会議を開催致しました。
一昨年の総会に合せて第1回目の事務局長会議を開催して以来、1月の賀詞
交歓会、総会の開催時と全国から傘下会員の方々にお集まり頂きやすい時間
を設定し、開催しております。

会員組合が全国各地にあるJASPAとしては各組合の事務局長を中心として
役員の方々が一同に会し、各組合の現状や取組み、そしてJASPAの活動に
求める事等の意見交換を行う場として、ご活用頂いております。
JASPAとして会員組合の活発な活動をサポートする場として、またJASPA
との連携をより円滑に進める為の場としていきたいと考えております。



コスモソフト協同組合 代表理事 都筑 美好

無限に広がる宇宙を市場に見立て、社会秩序と調和しながらITへの可能性を追求する
組合員25社が集結し、様々な事業展開を行っております。

会員名

(株)フジシステム	(株)リューマンシステムイースト	ロンググロウ(株)
(株)モチベア	(株)エム・ケイ・ソフトサービス	(株)日韓情報システム
システム技研(株)	東海ビジネスサービス(株)	(株)パルシス
(株)東海情報	(株)ケイケンシステム	(株)シード
(株)システムアドバンス	システムパック(株)	(株)インフィニティシステム
(株)サクセス	(株)技術ソフト	(株)システム・スキル
(株)日本シスラボ	(株)ビーマック	(株)サンシステム
(株)リング	(株)オープンセサミ	
(株)フジソフトラボ	システムロード(株)	



事務局
〒171-0033 東京都豊島区高田3-28-2
ダヴィンチ高田三丁目 3階別館
TEL:03-5949-4925 FAX:03-5949-4926

第14回
通常総会
開催

平成21年5月21日（木）
於：株式会社ユーエスイー 会議室

去る5月21日、第14回通常総会が開催されました。
今年度のホスト団体はソフトウェア事業協同組合がつとめられ、
記念講演会、懇親会には総勢〇名が出席のもと
盛大に開催されました。その主な内容をご報告させていただきます。
なお、今回は会場を参加会員企業の株式会社ユー・エス・イー
（代表取締役社長 吉弘文平）様に本社社屋をお借りいたしました。
開催に当たりましては社員の皆様に多大なご協力を賜りました。
この場をお借りいたしまして心よりお礼申し上げます。

運営委員会（理事会）	第1号議案 総会について 第2号議案 年間スケジュールについて 第3号議案 JASPA共済会支払い事由発生に伴う審議 第4号議案 次回開催のご案内 第5号議案 その他
------------	---

通常総会	第1号議案 平成20年度決算会計書類承認の件 第2号議案 平成21度における事業計画、収支予算ならびに経費の賦課及び徴収方法の決定の件 第3号議案 平成21度における借入残高の最高限度決定の件 第4号議案 1組員に対する貸付金残高及び債務保証残高の最高限度決定の件 第5号議案 手数料、貸付利息及び保証料の最高限度決定の件 第6号議案 役員報酬決定の件 第7号議案 青森県情報サービス協同組合解散による脱退の件 第8号議案 理事補充選挙の件 第9号議案 情報化月間表彰推薦実施の件
------	--

《平成20年度 事業報告》

費用の部	円	収益の部	円
1.企画広報事業費用	1,214,100	1.企画広報事業収入	1,438,095
2.福利厚生事業費用	661,905	2.福利厚生事業収入	661,905
3.調査研究事業費用	170,000	3.調査研究事業収入	540,000
4.委員会費用	7,269,632	4.委員会収入	7,685,907
5.共済事業費	1,065,440	5.活路開拓収入	1,065,440
6.一般管理費	2,627,211	6.賦課金収入	1,800,000
7.事業外費用	53,775	7.事業外収益	47,730
8.法人税、住民税額	9,6000	8.特別利益	1,300
9.当期利益	82,314		
計	13,240,377	計	13,240,377

《平成21年度 事業計画》

費用の部	円	収益の部	円
1.活路開拓事業費	2,500,000	1.活路開拓事業収入	2,500,000
2.企画広報事業費	1,300,000	2.企画広報事業収入	1,500,000
3.福利厚生事業費	600,000	3.福利厚生事業収入	600,000
4.調査研究事業費	200,000	4.調査研究事業収入	600,000
5.委員会費	7,300,000	5.委員会収入	7,600,000
6.教育情報事業費	1,500,000	6.教育情報事業収入	1,500,000
7.事業間接費及び一般管理費	2,545,000	7.賦課金収入	1,800,000
8.予備費	193,000	8.事業外収入	38,000
計	16,138,000	計	16,138,000

【理事補充選挙実施】

理事 3名の退任に伴い新たに選出された役員

理事 木 村 裕（宮城県ソフトウェア事業協同組合 理事）

理事 岡 修 三（ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合 理事長）

【特別講演会】

①日本政策金融公庫の貸付制度について

日本政策金融公庫 中小企業事業本部 営業推進部 企画開発グループグループ長 高岡 泰彦 氏

日本政策金融公庫 国民生活事業本部 創業支援部 創業支援課 課長 林 武志 氏

②経済産業省の情報産業政策の方向

経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課 課長補佐 豊田 原 氏

5つの主要業務

1. オラクルヒープルソフト導入コンサル・インプリメント事業

2. Web技術・セキュリティ技術・電子行政サービス事業

3. バイオ技術・介護、医療情報サービス事業

4. ICカード、RFID関連サービス事業

5. アウトソーシング（情報システムの管理運用）事業

技 術 要 素

ソフトウェアアーキテクト

基盤アーキテクト

RIA（Rich Internet Application）

SOA（Service Oriented Architecture）

これらの技術要素がユー・エス・イーの主要業務を支え、高品質・高生産性を生み出す技術基盤として お客様へ最適なソリューションをご提案します

ソフトウェアアーキテクト

ソフトウェアアーキテクトの専門部隊であるソフトウェアアーキテクト推進室を設立

◎システム開発におけるソフトウェアアーキテクトの役割

・システム要件に対してリスクを回避した実現方式を提供

・効率よく開発を行うアプリケーション実装基盤や開発環境を提供

・開発方針、規約、開発ガイドラインの提供

・共通化モジュールの提供

■期待される効果：

①プロジェクトチームはプロジェクト運営、業務開発に集中できる

②高品質、高生産性、高利益を生みだすことができる

さらに、プロジェクトチームは様々なソリューションにおけるノウハウを習得することでより強いチームができます。アーキテクト推進室は、プロジェクトで培ったノウハウを財産化し、プロジェクト支援、アーキテクト育成に役立てています。

基盤アーキテクト

システム基盤構築エンジニアを集めた専門部隊（システム基盤アーキテクトユニット）を設け、お客様のご要望に応じてシステム基盤構築の提案から設計、構築、運用に至るまでトータルでサポートします

また、クラウド・コンピューティングへの取組みを通じて、より最適なソリューションをご提案します

クラウド・コンピューティングとは…

インターネット上にあるソフトウェアやハードウェアといったサービス・資源を利用し、システムを実現すること

◎クラウドソリューションの提供

・お客様の要望にあった最適なクラウドソリューション選定・設計・構築

・ネットワークを中心としたセキュリティ設計・構築

・クラウドソリューションとのデータ連携設計

・クラウド化の運用設計（監視、バックアップなど）

⇒ クラウドソリューションを想定したシステム全体をコーディネートします

SOA（Service Oriented Architecture）

SOA（サービス指向アーキテクチャ）とは…

ビジネスプロセスに必要な機能を再利用可能なサービスとしてコンポーネント化（部品化）し、それらを組み合わせることで新たなシステムを構築する設計手法のこと

◎SOAへの取組み

・SOA/BPMコンサルティング業務

日本オラクル社と共に企業基幹システム構築を中心にコンサルティングを実施

Oracle BP&L Process Manager, Oracle ESB

・SOA関連サービス提供

SOAによるシステム構築サービス、BP&L構築支援サービス、BP&L構築サービス

http://technet-p.oracle.co.jp/ps/ad/nrl_top_disp_2

・日本オラクル NTI (New Technology Integrators) 加盟

・Oracle Open World Tokyo '09 Pavillionスポンサーとしてオラクルパートナーブースへ出展

6 Japan Software Party Association

Japan Software Party Association 7

中華民国資訊軟體協會(CISA)表敬訪問&企業視察 COMPUTEX TAIPEI視察実施 報告

JASPA は昨年 12 月に情報交換や市場開拓の相互協力などを目的に「業務提携覚書」を締結致しました台湾のソフト開発企業の代表的組織である中華民国資訊軟體協會（CISA：台湾ソフトウェア協会）より 6 月に開催されます COMPUTEX TAIPEI にあわせまして CISA 表敬訪問及び会員企業への視察をご案内頂いた事から JASPA 会員及び傘下企業の皆様にも台北の活発な IT 産業事情を研究する事により今後の事業展開について大変貴重な情報を得る機会であること、また、中国をはじめアジア地域に積極的に事業展開する台湾企業との事業連携の可能性を探る好機と考え、組合メンバーの方々にご参加いただけるよう JASPA 視察団としてツアーを企画し、実施いたしました。

JASPA 傘下企業である東京システムハウス株式

会社を中心に運営を行っている KT-NET との合同での催行となり、メインイベントである『日台ソフトウェア企業交流商談会』には総勢 20 名を超える方々にご参加頂く事が出来ました。

今回の企画にご参加頂きました方、そして現地にて JASPA 視察団をお迎え下さいました CISA メンバーの皆様、更に、本企画実施にあたりましてご協力頂きました皆様にはこの場をお借りし心よりお礼申し上げます。

下記にて実施致しました主な視察内容につきましてご報告させていただきます。尚、報告の詳細につきましては JASPA ホームページ

http://www.jaspanet.or.jp/?page_id=16

に掲載致しておりますので是非ご覧下さい。

＜ 2009 年日台ソフトウェア企業交流商談会 参加報告＞



6月初旬、JASPA は、協力関係にある台湾ソフトウェア産業協会の招請に応じて、台北を訪問し、日台ソフトウェア企業交流商談会に参加した。KT-NET から多数の企業が参加し、大盛況のうちに交流会が行われた。政府の後押しを受けた台湾企業の活力と所有する資源の豊かさを実感するとともに、中国との関係もさらに興味深いものを感じさせた。中国の IT エンジニア賃金の急速な上昇もあって、今後の日中台の IT 産業の関係は大きく変容する可能性もあると感じた。

1. 日程：2009 年 6 月 4 日(木) 企業交流会

2009 年 6 月 5 日(金) 企業視察

2. 交流会開催場所：台湾大学付病院国際会議センター 402 室

3. 交流会日本参加企業

- | | | |
|-------------------|-------------------|----------------------|
| ①(株)KDDI 研究所 | ②首都圏コンピュータ技術者(株) | ③(株)MM 総研 |
| ④(株)ラデックス | ⑤東京システムハウス(株) | ⑥チエル(株) |
| ⑦(株)システムエービーシー | ⑧ビーエスインターナショナル(株) | ⑨(株)未来技術研究所 |
| ⑩(株)トランスニューテクノロジー | ⑪オニコス(株) | ⑫(株)Hoster-JP |
| ⑬システム開発(株) | ⑭(株)DBMakerJapan | ⑮ギャラクシーソフトウェアサービス(株) |

4. 交流会台湾参加企業

- ①SYSCOM (CMMI 5)
- ②Arphic
- ③ケンシステムインターナショナル (CMMI 3)
- ④ファインアートテクノロジー (CMMI 3)
- ⑤cisinc(CMMI 3)
- ⑥PicowayTechnology
- ⑦InfoExplorer (CMMI 3)
- ⑧III
- ⑨ハマスターテクノロジー (CMMI 2)
- ⑩ウィツ
- ⑪ギャラクシーソフトウェアサービス(CMMI 3)
- ⑫Axtronics
- ⑬SUNNET
- ⑭AdvancedControl&Systems (CMMI 3)
- ⑮オムニワイズ(CMMI 3)

5. 台湾企業視察実施

- ①南港ソフトウェアパーク
- ②MiTAC
- ③SYSCOM
- ④WITS
- ⑤中華電信 (ChunghwaTelecom)

6. 意見交換、企業訪問を実施しての感想

①資本金について

どの企業も基本的には資本金は多かった。

日本では低資本で始められるイメージだが、台湾では初期投資が多く、最近の企業では VC 等で資本を集め設立している。

②①にも繋がるが、高学歴化しており、

IT は若者を含めて人気の高い職業である。

どの企業もマスター or ドクターの人数を掲げ、高レベルをアピールしている。IT は台湾としても高収入になる職業の 1 つとして位置づけがされている様子であった。

③台湾企業の日本への主な希望

やはり販売代理・ルート模索が多い。強みはあるが、商圏はないため、動かたくても動けない状況と言える。

また、オフショア先として台湾をチョイスして欲しい等も多かった。

台湾の可能性と日本の技術力がより強化される事で、日台の関係に更に深みが増すものと考えている。

④活気について

全体の雰囲気にもなるが、国のバックアップが手厚いようにも感じた。

分野の集中を踏まえての戦略が明確に思える。技術の進歩もさることながら、台湾人の押しの強さ、粘り強さは日本にはあまり見受けのないものがあり、急速な発展を後押ししているものと感じた。

現在は日本が技術的にもリードしているものが多いが、台湾は無視できない国に進化していると考えている。CMMI 等資格取得にも力が入り、北欧系との仕事関係も今後は強化されるはずである。



経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課 ～東條吉朗課長との懇談会 実施報告!!～

8月21日(金曜日)に、7月に着任されたばかりの東條課長との懇談の場を設けていただいた。以前よりJASPA役員及び会員代表者との懇談会については、中小企業代表者として貴重な意見集約の場として認識して頂けており、年数回、定期的に開催する事が確認されています。今回も東條課長が着任されて1ヶ月程しか経っていない時期にお時間を設けて頂きました。我々中小企業の経営者が直面している厳しい現状やその打開策についてのお願い、そして今後の方向性について2時間に渡りじっくりとお話させて頂く事が出来ました。



■主な内容

- ・J-SaaS、クラウドコンピューティングの今後の展開について
- ・産業分類上におけるソフトウェア業界の位置付けについて
- ・業界イメージ3K、5Kと呼ばれる現状と弊害。及びその改善策について

☆日 時：8月21日(金) 12:00～14:00

☆会 場：JASPA事務局 2階 会議室

☆出席者

氏 名	J A S P A 役 職	所 属 (加入組合名・企業名)
向 浩一	名誉会長	ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合 コムチュア株式会社 代表取締役社長
中島 洋	会長	首都圏ソフトウェア協同組合 理事長 株式会社MM総研 代表取締役所長
石渡 辰夫	副会長	静岡県ソフトウェア事業協同組合 理事 株式会社アイティエス 代表取締役会長
横尾 良明	専務理事	首都圏ソフトウェア協同組合 最高顧問 首都圏コンピュータ技術者株式会社 代表取締役会長
真杉 幸市	監事	首都圏ソフトウェア協同組合 理事 首都圏コンピュータ技術者株式会社 代表取締役社長
田淵 信夫		西日本コンピュータ技術者協同組合 理事長
舟橋 千鶴子		首都圏ソフトウェア協同組合 理事 ユース・情報システム開発株式会社 代表取締役社長
嶋原 育子		中央イメージテクノロジー研究開発協同組合 インターソシオシステム株式会社 代表取締役社長
馬場 国重		ソフトウェア事業協同組合 副理事長企業 株式会社ユー・エス・イー 取締役
名和 睦	事務局	全国ソフトウェア協同組合連合会

お客様にとっての パートナーカンパニー

ITS

トータルソリューションサービスで、
お客様から一番先に声がかかる企業を目指します。

株式会社 **アイティエス**

代表取締役 石渡 辰夫

本社／〒411-0816 静岡県三島市梅名372-8

TEL055-977-5151 FAX055-977-5142

URL http:// www.itsg.co.jp

札幌事業所／富士営業所／草津営業所

保守・メンテナンスサービス
顧客電話対応サービス
電子機器解析修理

技術サービス



**OAアプリケーションソフト
OA・FA機器販売**

ネットワークシステム企画・構築・サポート
土木施行管理・土木積算システム販売・サポート
各種業務用ソフトウェア販売・サポート
オーダシステム開発・販売・サポート

システムエンジニアリング

FAシステム設計(計測、管理、監視、制御)
ネットワークシステム構築
ソフトウェア設計(PC、PLC)・製作
制御盤設計・製作・設置工事

ISO14001:2004 認証取得

新分野への挑戦

USE

ユーザーと共に飛躍

www.use-joho.co.jp

私達は、メインフレームのオープンシステム化、ITネットワークのさらなる利便性を追求し、市場環境の変化を先取りする事を、当社エンジニア1人1人が常に念頭におき、取り組んでいます。
また、各分野においての業務知識を持つことで、コンサルテーション、アプリケーション開発から保守・運用に至るまでのトータルサポートを行っています。

ー IT力のさらなる向上を目指して ー

USE ユース・情報システム開発株式会社

United of System Engineer

〒101-0021 東京都千代田区外神田6-4-1 神田NRビル
Tel 03(5688)1105 Mail saiyou@use-joho.co.jp



沖縄県ソフトウェア事業協同組合

理事長 小渡 玠

平成21年
IT津梁パーク構想スタート
沖縄から元気を発信する！

(株)おきぎんエス・ピー・オー	小那覇 勉
(有)コンピュータ・リサーチ	金城 太
沖縄コンピュータ販売(株)	小渡 玠
(株)サウス・ウインド・システム	仲井間宗邦
(株)国建システム	幸地 長秀
(株)情報システムヘルパー	大城 健二
(株)クレスト	池原 稔
(有)新世紀システム	福元 廣政
(有)グローコミュニケーション	前里 耕司
(株)ソフトウェア・リンク	松長 健照
コンピュータネットワーク(株)	奥本 弘文
(株)ダイワ・メディカルシステム	大西 和男
(有)ノアクラフト	金城 忠
(株)アイエヌジーアットマーク沖縄	仲宗根 功
(株)システック沖縄	赤嶺 宏

平成21年度全国中小企業団体中央会補助金事業 JASPA研修会 実施しました

今期も全国中小企業団体中央会からの補助金事業を実施致しました。ご参加されました会員の方々には大変好評を頂き、『クラウドコンピューティング』や『オープンソース』『自治体システムの最適化』等、タイムリーなテーマを取り上げ、期待以上の成果を上げる事がで出来ました。実施致しました主な内容は下記の通りです。（詳細は来年1月発行のJASPA会報に掲載致します）

期日	時 間	テーマ	講 師
9月8日（火）	15:00～16:00（1h）	・講義① 「情報サービス業の『現在・過去・未来』＆組合員企業が21世紀を生き抜くための知恵と創意工夫①」	中小企業のIT企業が、偽装請負・違法派遣・再委託禁止・多重請負禁止・コンプライアンス重視などによって仕事が取れなくなっている。
	16:00～18:00（2h）	・講義② 「クラウドコンピューティング（SaaS）の状況と将来」	クラウドコンピューティングの現状と将来について SaaSの状況
9月9日（水）	10:00～12:00（2h）	・講義③、④ 「オープンソースの概要」	（1）オープンソースとは （2）オープンソースの活用事例 （3）海外・日本のオープンソース事情
	13:30～15:30（2h）	・講義⑤、⑥ 「日本のオープンソースの状況」	（1）オープンソース「Office、ERP、CMS(Content Management System)」などの現状について （2）オープンソースによるビジネスについて （3）オープンソースの将来は？
	15:40～17:40（2h）	・講義⑦ 「これからの日本のオープンソースについて」	“ユーザーの観点、ベンダーの観点”での「これからの日本のオープンソースについて」のパネルディスカッション
9月10日（木）	10:00～11:30（1.5h）	・講義⑧ 「情報サービス業の『現在・過去・未来』＆組合員企業が21世紀を生き抜くための知恵と創意工夫②」	今までのIT業界の商習慣が破壊されつつある現状で、組合員企業がどうやって生き抜くのか、顧客にとって必要な企業になるためにはどうしたらよいのか。
	13:00～15:00（2h）	・講義⑨ 「自治体システムの最適化」	自治体のシステム導入のチェックポイントと最適化されたシステムの導入手順について

JASPA事務局では次年度もセミナーの開催を検討致しております。ご希望の内容や、利用可能な制度等、情報がございましたら是非事務局迄御寄せ下さい。

JITRAD

中央イメージテクノロジー研究開発協同組合

理事長 安達 幸詔

〒111-0053 東京都台東区蔵前 3-1-10 蔵前セントラルビル7F
URL: <http://www.jitrad.com/> TEL: 03-3866-0181

過日、組合活動の一環として屋形船での親睦会を開催いたしました。
新規加入メンバーも迎え活発な交流を行っております。

当組合の特徴は、確かな技術力のみならず、バラエティかつ個性的な会社により構成されているところにあります。
OA分野における通信、ネットを利用したシステム構築から制御系分野、さらにはゲーム、モバイル、コンテンツ製作、ファシリティサービス、画像処理システム開発など、それぞれが自立した経営と技術の特化と幅広い分野への対応を心がけ、良質なソフトウェアプロダクトの提供を中心に事業展開しております。

●(株)アーベルソフト
●(株)エヌ・アイ・エス
●(株)ジャパン・コンピュータ・テクノロジー
●(株)マイクロ・テクニカ
●(株)ラデックス
●(株)システム ツー・ワン
●(株)ステイング

●インターソシオシステム(株)
●(株)ウインズ
●(有)デベロッパゲート
●(株)ユーソフト
●株式会社 ウェーヴ
●ロジックエンジン販売(株)
●ティーツー・メディアパル(有)
●(株)エム・エム

●(株)Doing
●(有)ソフトニカ
●(株)セレノ
●(株)LSC
●(株)アイビー・アーツ
●日中インフォシス(株)
●ニチカイ株式会社
●株式会社マトリックス

●桜木町法律事務所
●大村労務法制事務所
●山下税理士事務所
●発明プロデュース協会会長
国際アイデア啓発研究会代表
●国際人材育成

JASPA俳壇

今回も沢山の力作をお寄せ頂きました。有難うございました。

すずやかに空を見上げて花火かな
打ち上げし花火の下の俺ら古希
老いてなほ焚き火囲んで艶話
カッコーが迎えて送る山中湖
この時期は今年もまたかゲリラ雨
新緑や日差しを受けて眼鏡橋

（株）ハッコーエレクトロニクス 社長 関 栄一
（株）イーアールシー 会長 太田銀一郎
（株）トーバック 社長 山浦 英輝
（株）セル 社長 佐々木賢生
（株）エアールシー 取締役 須江 正

シャボン玉大曼荼羅を画きけり
音の無き昼また佳しと風車
ハスキーで永く愛してと君逝きし
マレモスがちよんまげ結って鉄格子
高相のジャケットネクタイ安そうだ
夏山の頂上に立ち ヤッフィー
アイス食べ お腹グーグル 云露丸
マイクロで ソフトな倅 夏バテる

詠み人知らず
詠み人知らず
詠み人知らず
詠み人知らず
詠み人知らず
詠み人知らず
詠み人知らず
詠み人知らず
詠み人知らず
詠み人知らず

12 Japan Software Party Association

Japan Software Party Association 13



首都圏ソフトウェア協同組合



当組合は特徴ある技術を保有する事業所の組合で、およそ100社の企業が加入しております。今後も開かれた組合としてその活動に共感していただける企業を参集し、組合員の社会的経済的地位の向上のために奮励努力してまいります。

共同受注委員会を中心に活発な活動を行い、様々な共同宣伝、共同受注活動の成果をあげることができました。会員皆様のニーズに答えるべく活動を進めてまいります。

METSA役員

代表理事 中島 洋
理事 真杉 幸市
理事 山村 史郎
理事 舟橋千鶴子
理事 中原 凡子
監事 坂下 一幸
監事 水谷 喜由

アークシステム(株)

(株)ISLWARE

アストップ工業(株)

(株)アビリティ

(株)アルナージュ

イースクエア(株)

(株)インターフュージョンコンサルティング

エスエーエス(株)

NS情報システムズ(株)

(株)MM総研

(株)OTソリューションズ

(株)環境舎

クロスフィールド(株)

(有)コプラス

(株)コンピュータ技術者研究所

サイバーコープ(株)

サンノックシステム(株)

(株)シーセクト

(株)システマックス

ジャストネット(株)

首都圏コンピュータ技術者(株)

(株)新

(有)スラッシュプランニングサービス

(株)セブン・ワイズ

(株)零

(株)千代田ソフトコンサル

テラデザイン(株)

(株)日本システムデザイン

(株)ネットウェーヴ

(株)ハーベル

(株)パワービーンズ

(株)ファーストシステムデザイン

フューチャーディベロップメント(株)

プラムシステムズ(株)

(株)ユー・エス・イー

ラシスソリューションズ(株)

(株)流通戦略総合研究所

アール・ブイ・シー(株)

(株)アイディーエス

(株)アトリス

アビリティーフュージョンキュービック(株)

(株)イー・シー・エス

(株)E-Safenet

(株)エスオーエスファクトリー

エム・スクエア(株)

(株)エムシーキューブ

(株)おきぎんエス・ピー・オー

(株)グリーンネット

(株)ケンソフト

コムチュア(株)

(株)コンピュータプラネックス

サイバービーンズ(株)

(株)ジーエヌエー

シェアマップス(株)

(株)システム・テクノロジー

アスノシステム(株)

上(有)

(株)シンプルシステムズ

(株)セルパン

総合事務管理(株)

(株)Dbmaker Japan

(有)電子精機

日本トータルサービス(株)

(株)ノベルットソフトウェアインダストリー

(株)博英システムズ

(株)ビーナス・テクノロジーズ

(株)フェザード

マイクロテクノロジー(株)

ユース・情報システム開発(株)

(株)リマック

(有)レオ・シスコム

(株)アイアシスト

(株)ア임システムサービス

(株)アビット

(株)イーソルエンバックス

(株)ウチダ人材開発センタ

エヌ・ラボ(株)

(株)エムエスケイ

大津コンピューター(株)

カスタム・テクノロジー(株)

(株)クレスト

(株)コードダイナミクス

(株)コムテップ

(株)SyNet

(株)三恵クリエス

(株)シーオーシー

(株)システック

(株)システムブレインズ

しゅくみねっと(株)

湘南ベイコンサルティング(株)

(株)セクオ

(有)ゼロ

(株)ダイナックス高松

(株)デジタルアソシエイツ

(株)トリプルアイズ

ネクストウェア(株)

(株)ハッチエッグ

(株)ピコテック

(株)フォーミックス

(株)プライム・システムズ

(株)メディアテック

(有)ライトブレイン

(株)竜巧社ネットウエア

本 部 だ よ り

平成21年1月～9月運営委員会報告

事務局長 横尾 良明

平成21年1月15日

東京都「グランドプリンスホテル高輪」にて
運営委員会を開催

(ホスト団体：電算ソフトウェア協同組合
ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合
首都圏ソフトウェア協同組合 共同開催)
※ 運営委員会
1. 賀詞交歓会開催の件
2. 平成21年度JASPA年間行事予定決定の件
3. JASPA会報51号発刊の件
4. ソフトウェア業界が抱える問題点及び改善案の提案と現在の経済情勢により今後の業界の動きや懸念について意見交換
※ 懇親スポーツ大会レイクウッドゴルフクラブ

平成21年1月15日 運営委員会同日開催

『JASPA事務局長会議』

『JASPA講演会・賀詞交歓会』

詳細は本誌P3～P4掲載

平成21年2月19日

広島県「呉森沢ホテル」にて運営委員会を開催

(ホスト団体：西日本コンピュータ技術者協同組合)
※ 運営委員会 出席者17名
1. 2月23日「派遣労働問題を考える」緊急セミナー&意見交換会の開催について
2. 賀詞交歓会開催報告
3. JASPAセミナー実施について
※ 懇親スポーツ大会 郷原カントリークラブ

平成21年3月5日

福岡県「JALリゾート シーホークホテル福岡」
にて運営委員会を開催

(ホスト団体：ハイテクノロジー・ソフトウェア開発
協同組合 九州支部)
※ 運営委員会 出席者28名
1. 2月23日「派遣労働問題を考える」緊急セミナー&意見交換会の実施報告
2. JASPA賀詞交歓会実施について
3. JASPAセミナー実施について
※ 懇親スポーツ大会 古賀ゴルフ・クラブ

平成21年4月2日

静岡県「株式会社アイティエス 会議室」
にて運営委員会を開催

(ホスト団体：静岡県ソフトウェア事業協同組合)
※ 運営委員会 出席者29名
1. JASPA総会開催について
2. 青森県情報サービス協同組合解散による退会について
3. JASPA人材確保委員会より報告及び専門学校での就職説明会開催に関してのご提案
4. ホスト団体会員企業のご紹介
※ 懇親スポーツ大会 中伊豆グリーンクラブ

平成21年4月27日

《理事会 開催》

於：JASPA事務局 会議室

平成21年4月29日

《石川義昭名誉会長 藍綬褒章 受章》
於：詳細は次号掲載

平成21年2月23日

「派遣労働問題を考える」緊急セミナー&意見交換

◇講師

経済産業省 経済産業局 企業行動課長

糟 谷 敏 秀 氏

◇会場

木挽館銀座ビル 会議室

◇主催

財団法人経済産業調査会

全国ソフトウェア協同組合連合会

去る2月23日(月)にJASPA会員加入企業に向けてセミナーを開催致しました。

本セミナーは(財)経済産業調査会とJASPAによる主催で「派遣労働問題を考える」と題し、経済産業省の派遣問題担当である企業行動課長の糟谷氏にもご出席を頂き、我々が日々切実に感じる事、聞きたい事にお応え頂く為の企画で実施が実現致しました。会場には100名を超える方々に出席頂き、意見交換会では大変多くのご意見、ご質問が出され、糟谷氏は大変丁寧にお答え下さいました。

なお、12月にJASPA会員より『ソフトウェア業界が抱える問題点及び改善案の提案と現在の経済情勢による今後の業界の動きや懸念について』と題し募集を行っておりましたご意見についても書類として提出致しました。

本 部 だ よ り

平成21年1月～9月運営委員会報告

事務局長 横尾 良明

平成21年5月21日
東京都「株式会社ユー・エス・イー 会議室」
にて運営委員会を開催

(ホスト団体：ソフトウェア事業協同組合)

※ 運営委員会 出席者29名

1. 総会について
2. JASPA賀詞交換会開催方法の決定

※ 懇親スポーツ大会

太平洋クラブ御殿場コース

平成21年5月21日 運営委員会同日開催
『JASPA事務局長会議』
『JASPA総会・講演会・懇親会』
詳細は本誌P4～P5掲載

平成21年6月3日～
《中華民国資訊軟體協會（CISA）表敬訪問&
企業視察COMPUTEX TAIPEI視察実施》
詳細は本誌P7～P8掲載

平成21年6月18日
埼玉県「大宮国体記念会館」にて
運営委員会開催

(ホスト団体：埼玉ソフトウェア事業協同組合)

※ 運営委員会 出席者14名

1. JASPA総会開催終了報告
 2. JASPA賀詞交換会開催について
 3. 中華民国資訊軟體協會（CISA）表敬訪問&企業視察COMPUTEXTAIPEI視察実施報告
 4. JASPAホームページリニューアル完了報告
- ※ 懇親スポーツ大会 東松苑ゴルフ倶楽部

平成20年7月9日
北海道「ノボテル札幌」にて運営委員会開催

(ホスト団体：北海道ソフトウェア事業協同組合)

※ 運営委員会 出席者26名

1. 平成21年度情報化月間推薦対象者選考
 2. JASPAセミナー実施について
 3. 経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課担当課長との懇談会実施企画について
- ※ 懇親スポーツ大会
クラークカントリークラブ

平成21年8月5日
青森県「鯉ヶ沢高原温泉 ナクア白神ホテル&
リゾート」にて運営委員会開催

(ホスト団体：旧青森県情報サービス協同組合)

※ 運営委員会 出席者16名

1. 平成21年度情報化月間推薦申請報告
2. JASPAセミナー実施について
3. JASPA賀詞交換会開催について

※ 懇親スポーツ大会

鯉ヶ沢高原温泉 ナクア白神ホテル&リゾート

《平成21年8月21日》
経済産業省 商務情報政策局
情報処理振興課 課長 東條 吉朗 氏
JASPAメンバーとの意見交換会開催！！
詳細は本誌P9掲載

平成21年9月8日～10日
《JASPAセミナー開催》
詳細は本誌P11掲載

平成21年9月10日
東京都「ザ・プリンスさくらタワー東京」
にて運営委員会開催

(ホスト団体：首都圏ソフトウェア協同組合)

※ 運営委員会 出席者20名

1. JASPAセミナー実施報告
 2. 経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課 担当課長との懇談会実施報告
 3. ホスト団体会員企業のご紹介
- 懇親スポーツ大会 大箱根カントリークラブ

